

せんえんせい
遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」 2018年秋の講演会 in 大分
～深い海からのメッセージ 気づいてください～

講師
プロフィール

畔津 亜希子 (あぜつあきこ) [薬剤師、英国IFPA認定アロマセラピスト]

九州大学薬学部卒業後、医薬品メーカーにて新薬開発研究に従事。薬剤師への転職を機に地元大分に戻る。患者様と向き合っていく中、補完代替療法の一つであるアロマセラピーの道へ。「ヘルスケアアロマセラピー Vivras」を主宰し、こころとからだのケアを行っている。また遷延性意識障害の方へアロマセラピーを用いてリハビリサポートを行っている。

篠原 さゆり [社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 看護師]

看護専門学校緑生館卒業、1991年入職、看護師として整形外科、回復期リハビリ病棟を経て2012年よりNASVA(自動車事故対策機構)委託病床配属。2018年10月NICD(意識障害・廃用症候群の生活行動回復看護)学会認定取得。現在、NASVA病床にてスタッフ教育を始め看護実践に取り組んでいる。

川添 由加利 [社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 リハビリテーション室主任 作業療法士]

九州保健福祉大学保健学科卒業、2005年入職、リハビリテーション室所属。急性期脳血管障害、回復期病棟にて急性期リハビリから回復期リハビリを経験し4年前よりNASVA病床を担当。

中迫 正臣 [社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 患者支援部 医療ソーシャルワーカーMSW]

2005年大分大学教育福祉科学部卒業後 鹿児島島の精神科病院にてPSW(精神保健福祉士)として勤務。2008年より佐賀大学医学部付属病院 MSWとして交通事故や脳血管疾患等の救急、神経難病、がん相談支援、HIV 担当を経験。2017年より聖マリア病院にて現職。佐賀県医療ソーシャルワーカー協会理事。

遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」について

私たちは、ある日突然不慮の事故や病気により脳に重大な損傷を受け、一命は取り留めたものの意識障害が遷延している(続いている)遷延性意識障害者とその家族の会です。遷延性意識障害者は、自力で動くことも、食べることも、話すことも、呼びかけに応じることもできない、最重度の障害者です。家族は、病状や障害について大きな不安を抱えながら、転院先、リハビリテーションの制限、デイサービス・ショートステイの受け入れ制限など、医療・介護、制度上の様々な問題に直面し、将来への不安に苦しんでいます。そして24時間在宅介護で家の中で孤立状態にある家族、不安や疑問を相談できずに苦しんでいる家族も少なくありません。

そこで私たちは、2015年4月遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」を発足しました。「つくし」のように、厳しい冬から明るい春に向かって少しずつでも伸びていけるように、当事者家族同士が互いに支え助け合い、専門家に学び、一般の方々にもこの障害について理解してもらえるよう情報発信し、行政への働きかけなどを行い、当事者とその家族が安心して暮らせる社会を求めて活動しています。

多くの方々のお力添えを、心よりお願い申し上げます。

参加申込書 (FAX:092-526-0616)

▶電話、メールでの申し込みも受け付けております

参加をご希望される欄に○をお願いします。※必須

セミナー	講演会	懇親会
------	-----	-----

※セミナーは、会員対象となります。

どちらかの欄に○をお願いします。※必須

会員 (家族、賛助、ボランティア)	当事者・家族	その他
	一般	

フリガナ	所属(医療介護・福祉関係の方)
お名前	
ご住所 〒	電話番号
	FAX 番号
	E-mail

【お申し込み・お問い合わせ先】

遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」
TEL:080-8562-0171(代表:谷口) FAX:092-526-0616
E-mail:kyusyu.ishiki@gmail.com

* 入会、賛助会員随時受付中、下記にお問い合わせ下さい。

遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」

代表: 谷口 正春 Tel.080-8562-0171 Fax.092-526-0616 E-mail:kyusyu.ishiki@gmail.com

facebookページ▶<https://www.facebook.com/senensei.kyushu.tsukushi>

